

環境適合設計

ムラタの製品(電子部品)は世界中で生産されるさまざまな電子機器に組み込まれています。ムラタでは製品が環境に与える影響の大きさを強く認識し、製品の環境負荷削減を最重要課題のひとつに掲げています。

環境に配慮した製品づくり

量産段階前にも製品アセスメントを実施

ムラタでは、特に製品に含有する規制化学物質の使用削減、省電力化、小型化による資源の有効活用を重視して環境適合設計を進めています。

2004年11月から全グループ会社で、製品が環境に与える影響を評価する製品アセスメントを実施しています。評価は開発設計段階だけでなく、試作段階や市場投入時にも実施し、環境に配慮した製品であることを確認しています。

製品の使用・廃棄までを考えたライフサイクルアセスメントを導入

ムラタは製品アセスメントを実施するうえで、製品のライフサイクルにおける環境負荷の低減を重視しています。

1995年に製品のライフサイクルアセスメント(LCA)を担うLCA部会を設置し、1999年から研究開発プロセスにLCAを導入しました。代表的な製品についてCO₂排出量、

主原材料消費量などのデータを解析しています。LCAは製品だけでなく、ムラタが自社で設計する生産設備にも適用しています。

2006年度には、LCAのデータ算出を容易にするための「部材別CO₂排出量原単位データベース」を構築しました。

製品アセスメント項目

分類	項目	分類	項目
製品本体	規制物質	生産工程	規制物質
	小型化		エネルギー削減
	主原料削減	包装・梱包	省電源・廃棄物削減
	省電力		規制物質
			省電源・廃棄物削減

環境負荷化学物質の管理

環境負荷化学物質の削減の目標達成

一般的に電子部品には、人体や環境に負の影響を及ぼす可能性のある物質(環境負荷化学物質)も含まれています。そこで、ムラタでは法令で使用が禁止されていない物質も含めて、環境負荷化学物質の削減・全廃に注力しています。

2006年度は、①欧州RoHS指令規制対象物質の全廃完了、②ハロゲン系難燃剤使用量の2003年度比20%削減を目標に、代替物質への転換と代替技術の開発を進めました。この結果、2006年5月には、欧州RoHS指令の規制対象外製品を除く全ての製品でRoHS指令への対応を完了しました。ハロゲン系難燃剤は使用量を30%超削減し、目標数値を達成しました。

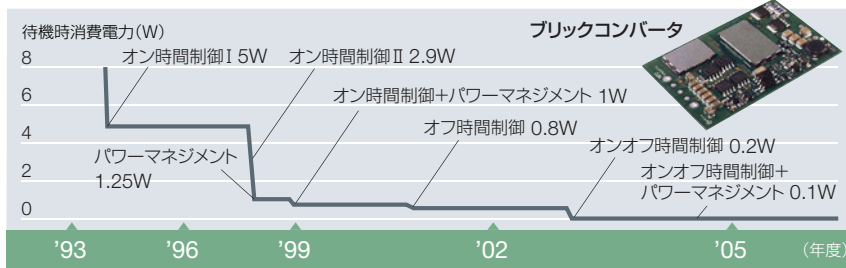
ライフサイクルアセスメント(LCA)とは?

資源採掘から製造・販売・使用・廃棄にいたるまでの製品の全ライフサイクルにおいて、環境に及ぼす各種の環境負荷を定量的に評価する手法。

RoHSの規制を受けない製品の取り扱いについて

RoHS指令の適用を受けない地域・用途向けに、RoHS非対応製品を提供する際には、経営層の決意を得ないと製造・販売を認めないムラタ独自の仕組みを運用しています。

待機時省電力回路技術(当社の技術開発によって省電力化を達成した一例)



掲載情報

- 環境負荷化学物質の基準の設定
- 環境負荷化学物質に関する情報管理

▶ <http://www.murata.co.jp/csr/environment/06.html>

▶ <http://www.murata.co.jp/csr/environment/06.html>